

日本工業技術教育学会 学会誌「工業技術教育研究」投稿規定

平成18年3月改訂

1. 論文の種類

- (1) 原著 工業技術教育に関する実証的、独創的な研究報告や新しいデータ等をまとめたもの。
- (2) 論説 工業技術教育に関する新しい思潮、制度、研究動向の展望や提言などを述べたもの。
- (3) 資料、実践報告、教育研究報告等
内外の諸研究の追試検討、特定分野の現状や試験結果、教育研究に関する報告等を広い角度から記述したもの。

2. 論文の条件

投稿論文は、日本工業技術教育学会の会員を筆頭著者とし、次の条件を満たしていること。

- (1) 内容の主要部分が他の学会誌に掲載または掲載予定にないこと。
- (2) 内容の一部が既発表であるが、さらに深く精査し、その内容に独創性が認められるもの。
- (3) 原則として、支部または全国大会・学会で発表したものであること。

3. 原稿のページ数

図・表・写真を含めて刷り上がり8ページまでを原則とする。

4. 原稿の作り方と投稿手続き

原稿は本会の「執筆にあたって」に従い、原則として一太郎またはワードにより作成する。出来上がった原稿はメールの添付ファイルで8月31日までに事務局に送る。

なお、図・表は原稿のまま印刷されるので、字が読みとれる大きさにすること。写真等はスキャナ等でJPEG画像に変換してワープロに組み込むこと。

5. 投稿論文の取扱い

投稿論文は編集委員会で採録の可否を決定する。掲載が決定すれば、「採録通知」を却下したときは「却下通知」、修正再審査のときは「査読結果」を送る。ただし、修正は合計2回を限度とする。「査読通知」が到着したら、指定日までにメールの添付ファイルで送る。

査読後「採録通知」が到着したら、1週間以内にメールの添付ファイルと印刷確認のための原稿2部を事務局に郵送する。

なお、本誌に掲載された論文の原稿等は原則として返却しない。

6. 校正

印刷の際、著者校正を1回行う。

7. 費用の負担

- (1) 図表等の印刷について、特に費用を要する場合、著者負担とすることがある。
- (2) 論文の抜き刷り20部を著者に贈呈する。

8. 論文の複製・転載

本誌に掲載された論文を無断で複製または転載することはできない。

9. 投稿論文の送付先

〒310-8512 茨城県水戸市文京2-1-1
茨城大学 教育学部 技術教育教室内
日本工業技術教育学会 事務局 工藤 雄司
E-mail yuji.kudo.tech@vc.ibaraki.ac.jp

主な改正点

1. 原稿の提出は、原則としてメールの添付ファイルとする。
2. 原著以外は、要旨の英文を必須としない。
ただし、タイトル、氏名、所属、キーワードは、英文も併記する。

執筆にあたって

1. 工業技術教育に関する実践的な研究（教材あるいは技術指導のために有用な学術的研究を含む）を論文として執筆されるようお願いしたい。
2. 原稿の冒頭には表題・所属・著者氏名（住所等連絡先を別紙に書いて添付する）を書き、研究の要旨（400字程度）、キーワード（5～6語）を記す。
3. 投稿論文は原則として、要旨、目的、方法、結果、考察（まとめ）、引用文献からなることが望ましい。なお、要旨、キーワードは英語で書いたものを添付することとし、英文要旨についてはA4用紙におおよそ半頁以内とする。
4. 投稿論文は原則として、次の（1）～（5）にしたがって作成する。

（1）記載順序について

- ①タイトル、著者名、所属
- ②要旨および[キーワード]
- ③本文
- ④英文タイトル、著者名、所属、
SUMMARY(英文要旨およびキーワード)

（2）編集書式について

- ①用紙 A4版 単票縦置き
(会誌と同じ大きさに合わせる)
- ②字数 本文 概ね24字 2段組
要旨等 概ね45字 段組なし
(下記ポイント数参照)

なお、字数は24字でお願いします。出来上がり時点で使用ソフトにより24字でない場合もありますのでご了解ください。

また、写真、表等は2段組でなくてもかまいません。

- ③行数 45行
- ④マージン 上下左右 20 mm
(下記フォーマット参照)

ポイント数

- | | | |
|----------|-------------------|----------|
| ①タイトル | MSゴシック体 | 14ポイント |
| ②所属、著者名 | MSゴシック体 | 11ポイント |
| ③見出し、項目 | MSゴシック体 | 12ポイント |
| ④本文、要旨 | MS明朝体 | 10.5ポイント |
| ⑤英文タイトル | Times New Roman 体 | 12ポイント |
| ⑥英文著者名 | 〃 | 11ポイント |
| ⑦英文所属 | 〃 | 11ポイント |
| ⑧SUMMARY | 〃 | 10.5ポイント |

（3）図表について

- ①図、写真 ワードプロソフトに組み込む。
タイトルは番号を付け、図の下に書き入れる。
- ②表 ワードプロソフトに組み込む。
タイトルは番号を付け、表の上に書き入れる。
なお、図・表も原則として2段組であるが、大きい場合には2段組でなくても良い。

（4）使用ソフトについて

一太郎、Word

（5）論文はメールに添付して提出する。

その際、図、写真等はJPEG圧縮や、解像度を落とす等により、ファイルサイズが大きくならないよう留意する。

5. 論文は常用漢字、現代かなづかいを用い、簡潔明瞭に記述する。
6. 本文中の外国語の使用はできるだけ避けるものとするが、専門用語などには必要に応じて原語をつけることが望ましい。
7. 図表・写真は、表1、図1のように通し番号をつけ、それぞれタイトルをつける。
タイトルの位置は、表は上、図・写真は下につける。

8. 引用文献は論文の最後にまとめる。その記述形式は著者、表題、書名、巻数、論文所在ページ、発行所、発行年のように順に記入する。
9. 論文以外は、要旨の英文を必修としない。ただし、タイトル、氏名、所属、キーワードは、

英文も併記する。

10. その他詳細については、本誌最近号を参考にし、不明な点については編集委員会または事務局に問い合わせして下さい。

フォーマット http://www.u-gakugei.ac.jp/~kshimada/kougyogizyutu_template/

↑アンダーバーが入る

上記よりテンプレートのダウンロードができます。

例

原著

 12 p MSゴシック

タイトル 14 p MSゴシック体
英文タイトル 12 p

著者名* 11 p MSゴシック
英文著者名 11 p

*所属 11 p MSゴシック
英文所属 11 p

要 旨 12 p MSゴシック

要旨内容 10.5 p 明朝体 (一段組)
キーワード:

本文 10.5 p 明朝体 (二段組)

本文の最後に英文タイトル、所属、要旨等 (文体は全て Times New Roman 体)

英文タイトル 12 p

英文著者名* 11 p

*英文所属 11 p

SUMMARY 12 p

英文要旨 10.5 p (一段組)
keywords: